

◆平成18年度決算がまとまりました

拠出金の微増、保険給付費の減少 などにより2年連続の黒字

平成18年度決算が7月23日に開催された第85回組合会において承認されましたので、お知らせいたします

約3億円の 経常黒字を計上

当健保組合の平成18年度決算は、収入支出差し引き3億4289万円、実質的な収支である経常収支では差し引き3億119万円の黒字となり、2年連続の黒字決算となりました。

収入では、事業主と被保険者のみなさんから納めていただいた保険料が前年度比1281万円増加の25億3988万円となりました。収入総額では26億1993万円で同比1673万円の増加です。

一方、支出では、みなさんが医療機関にかかったときの医療費や、出産などの給付金などに充てられた保険給付費が同比3114万円減少の12億3271万円となりました。

高齢者などの医療費に使われた拠出金は8億5249万円で、同比4939万円増加の横ば

い状態です。このほか、健診の実施や保健指導宣伝などみなさんの健康づくりとして保健事業費が同比2254万円増加の1億1425万円となりました。これらを合わせた支出総額では同比3781万円増加の22億7704万円となりました。

来年度からの新しい健診・ 保健指導に積極的な参加を

老人保健拠出金の減少、また、日本経済の好調な景気などを反映して、当健保組合の財政は

安定的な傾向を示していますが、今後もこの状況が続くわけではありません。昨年成立した医療制度改革関連法により、来年4月からは、75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度の創設や、特定健診・保健指導の義務化など大きな制度改正が行われることになっており、これによ

り健保組合財政に、大幅な支出増が見込まれているためです。

特定健診・保健指導の義務化では、40歳～74歳までの全被保険者・被扶養者を対象に、メタボリックシンドロームの予防に着目した健診、健診後の保健指導を行うことが定められています。これに対応すべく、現在、当健保組合でも特定健診・保健指導の実施計画を作成しておりますが、個人にあつたきめ細かな保健指導の実施などこれらに対する実施費用は膨大なものになるとみられ、健保組合財政に大きな影響を及ぼすことが予想されています。

当健保組合としましては、引き続き健全な財政運営を推し進めるとともに、みなさんの健康づくりを応援するさまざまな事業を行ってまいります。ぜひみなさんも日ごろから健康管理を心がけていただければ幸いです。みなさんのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平成 18 年度 健康保険収支決算のあらまし

収入

科 目	決算額
みなさんと事業主から納められた保険料	2,539,882 千円
健保組合が互いに出し合って助け合うお金（調整保険料）	28,490 千円
その他	51,562 千円
合 計	2,619,934 千円

支出

科 目	決算額
病気やけがやお産をしたときに健保組合が負担した保険給付費	1,232,718 千円
高齢者などの医療に使われた拠出金	852,490 千円
健康づくりに使われたお金	114,252 千円
健保組合が互いに助け合うための拠出金	28,316 千円
その他	49,264 千円
合 計	2,277,040 千円

平成 18 年度 介護保険収支決算のあらまし

収入

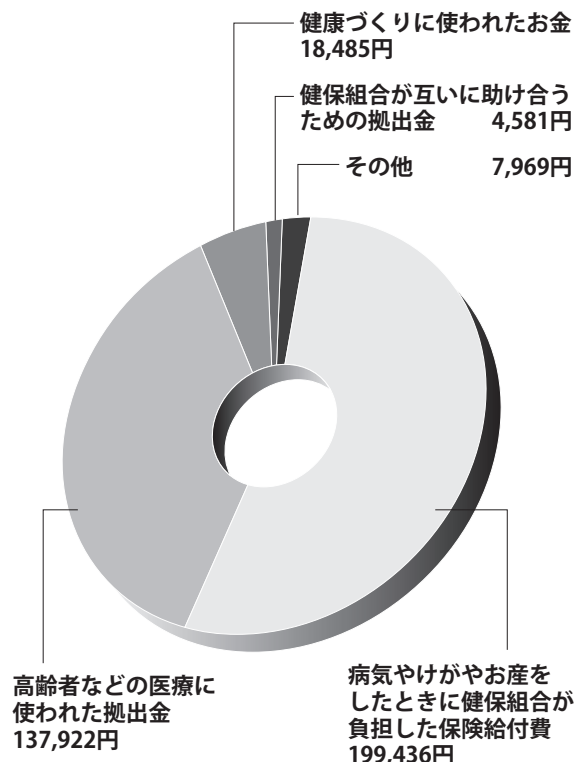
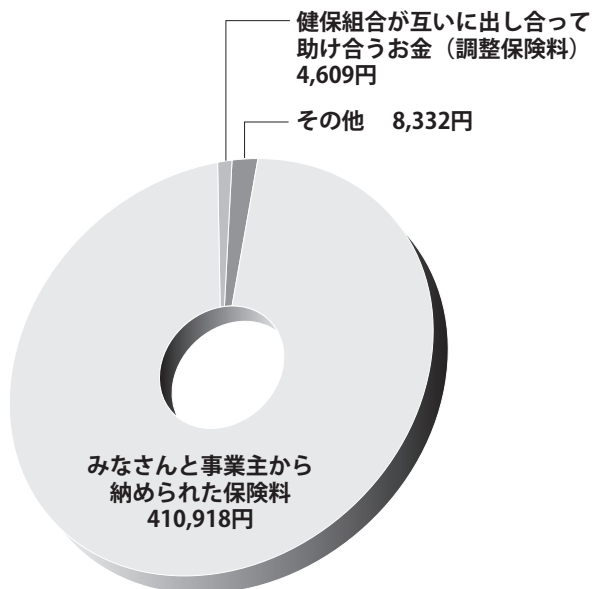
科 目	決算額
介護保険料	206,973 千円
その他	11,123 千円
合 計	218,096 千円

支出

科 目	決算額
介護納付金	202,128 千円
その他	7 千円
合 計	202,135 千円

被保険者1人あたりでみた 収支予算

収入合計● 423,859 円



支出合計● 368,393 円